

さくら

2016 秋

発行
社会福祉法人 東桜会
第53号

〒420-0962
静岡県葵区東 527 番地の 1
特別養護老人ホーム 麻機園
TEL 054(247)8739
FAX 054(247)8640

麻機園の敬老会

9月10日に敬老会を行い、入所者のご長寿をお祝いしました。皆さんもこの日は綺麗なお化粧とよそ行きの服で出席され、普段よりも華やかな雰囲気となりました。

第一部では式典を行いました。理事長、園長のあいさつの後に新100歳になられた山崎さん様より元気よく「これからも元気でがんばります」と新100歳元気宣言を頂きました。

第二部ではアトラクションを行いました。職員によるクイズでは、司会者が某芸能人に扮装し新人職員の紹介を行いました。普段と違う装いの職員に驚きと笑いが沸き上がりました。入所者の花笠音頭ではこの日の為に毎日夕方の体操の時間に練習を行ってきました。本番では緊張しながらも練習の成果を発揮し、皆さん上手に踊られていました。職員による輪踊りでは法被を着た職員が入所者の周りを囲み「花火音頭」を披露しました。職員もこの日の為に練習を重ね、お祝いの気持ちを込めています。職員の真似をしながら体を動かす入所者、笑顔で職員を見ている入所者など皆で楽しめたのではないのでしょうか。最後は五反田楽友部さんの七福神が入所者のご長寿をお祝いして下さいました。絢爛豪華な衣装のおめでたい踊りで福を授けてくれます。101歳の戸田いま様から「ありがたいねえ」とお言葉を頂きました。元気という御利益がありますように。

第三部はお食事会です。今年の祝い膳は松茸ご飯や天ぷら、茶わん蒸しなどが振る舞われました。料理をみた入所者からは、「すごいっばいあるね」「おいしそう、食べるのが楽しみ」などの言葉がとびかかっていました。皆さんに残さず食べて頂くことができ良かったです。敬老会を入所者の方、来場していただいた御家族の方とお祝いすることができて良かったです。来年も1つつつ歳をとった皆さまと一緒に祝いましょう！たのしみです。



麻機園 寮母 福田真弓

音を楽しんで、味を楽しんで。



まだ残暑が厳しい9月10日、今年もケアハウス桜花で敬老会が行われました。

毎年式典には皆さまお化粧をしたり、素敵な衣装に身を包んでお越しくださいます。

理事長、施設長からのお祝いの言葉のあとは、米寿の梶山賢一様から立派な謝辞をいただきました。

緊張感のある式典に続いて第2部は「ひるがお」様によるオカリナの演奏を聞きました。あまり見たことのないオカリナという楽器の優しい音色で懐かしい歌謡曲や唱歌に合わせて皆さま大きな声で歌っていました。音を楽しんだ、その次は味を楽しむ番です。全員で乾杯した後は「あの時はこうだったね」「今は便利な時代だね」などいろいろな話をしながら美味しい食事を楽しみました。職員にも「今日はありがとう」と温かい言葉をいただき笑顔がいっぱいの敬老会となりました。来年も皆さま同じ顔で揃ってお祝いできますよう元気に過ごしましょうね。

ケアハウス桜花 生活相談員 佐藤勝洋



デイサービス通信 ~ 我らの人生これからだ ~

デイサービスでは、月に2回シニアサポーターの滝かほるさんに教えていただきながら、絵手紙を楽しんでいます。昨年の11月に始めてから10ヶ月が経ち、始めの頃に比べて大胆に描けるようになり、短時間で次々と素敵な作品が出来上がるようになりました。

見本を見ながら、ハガキ大の画用紙に大きく筆で輪郭を描き、薄い色から色を重ねていきます。先生と相談しながら、思い描く色が出るまで何度も色を重ねる方など、同じモチーフでもご利用者の様々な個性が現れています。

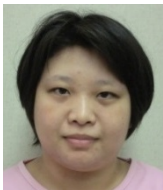
また作品ができると利用者同士で作品を見せ合い、おしゃべりを楽しんでいます。

「絵手紙は1日で完成するし、お部屋に飾れるからいいね。」「今まで描いた作品を全部飾っているよ。」「今度、娘の所に送ってみようかな。」との声も聞かれています。



麻機園デイサービス 生活相談員 望月昭子

新人職員紹介



9月から麻機園で働きはじめました。老人保健施設での経験と仕事の違いがあり戸惑う事が多々ありますが、少しずつ慣れていきたいと思えます。まだ20代なので若さを活かしつつ、話をすることが大好きなので、入所者の皆様とたくさん話をして頑張っていきます。これからよろしくお祈りします。

麻機園 寮母 鷲巣博子

秋の運動会



10月5日に、麻機園では運動会を行いました。紅組、白組に分かれ、いつもは仲のよい入所者も今日ばかりは真剣に戦いました。更に沼上保育園からも小さな戦士たちが集ってくれました。普段は静かなお年寄りも、ちびっこ達にいいところを見せようと張りきっていました。応援合戦では大きい声を出してお互いに健闘を誓い合いました。競技はパン食い競争、ボールその他の順送球、玉入れを行いました。パン食い競争では手を使わずにパンをくわえなければなりません。慣れない事で戸惑う選手に熱い声援が送られました。順送球ではビニールのカキ氷や発泡スチロールの雪だるま等いろいろな物を隣りの人に渡して行きます。次から次へと隣りの人へ一生懸命に手渡して行きました。玉入れでは一つでも多く玉をカゴに入れようと夢中で投げていました。今年は白組の勝利となりましたが競技に参加した入所者も子供たちと一緒に楽しい時間を過ごしてもらえたと思えます。

麻機園 寮母 小泉富三郎

「初めての介護」

大橋美智子

麻機園に入社し、介護の仕事についてもう4年目になりました。初めての介護の仕事でした。当初は、右も左も分からずにただ先輩職員の足手まといにならない様にと、一生懸命仕事を覚えていくのに必死でした。

入社一年目に、初任者研修講座を受講する機会を頂きました。働きながらの勉強は精神的にも体力的にも大変でした。しかし、現場でする事がなぜそうするのかを勉強できました。ただ高齢者に寄り添うだけではなく食事介助の仕方や移乗の仕方など介護の知識が必要だと思いました。そして私なりに苦労をしましたが研修課程を修了する事ができました。

私が普段行っている介護の仕事には、リスクの多い介助もたくさんあります。入浴介助では滑り易い浴場で安全を確保しなければなりません。食事の介助では喉を詰まらせたりしないように慎重に介助しなければなりません。直接身体に触れる介助は今でも怖いことがあります。経験が積んでいく事で、自信にも繋がりたいと思えます。少し早く仕事ができる様になりやっとな先輩達に認めてもらえたかしら？

友人に「大変な仕事なのによく続いているね」とよく言われます。外から見るとそうかも知れませんが、しかし麻機園の入所者は、みんなのいい方ばかりで、笑顔で接すると笑顔で返してくれます。そんな入所者と関わって行く介護の仕事が楽しく感じられて、今日まで続けて来たのかなと思います。

年齢的にあと何年仕事が出来るか分かりませんが、私より年上の先輩達を見習い頑張ります。